

えりも町におけるセイヨウオオマルハナバチの記録

石川慎也¹⁾ 石川淳基²⁾

はじめに

セイヨウオオマルハナバチ *Bombus terrestris* (以下セイヨウ) は、トマトなどのビニールハウス栽培作物の受粉用にヨーロッパから 1991 年より輸入されたマルハナバチである。しかし、1996 年にはハウスから逃げ出したセイヨウの自然巣が日高管内で確認され、以来、急激に北海道内での分布を拡大し、2007 年 4 月より特定外来生物法に基づく防除事業が行われている(東京大学保全生態学研究室, 2008b)。セイヨウは、在来のマルハナバチに比べて繁殖力、食料や巣をめぐる競争に強く、在来種を衰退させる恐れが危惧されている。これは、受粉パートナーを失うことになる植物にとっても深刻な問題となる。また、セイヨウは、花の根元に穴を開けて蜜を盗むという盗蜜を行うため、植物の受粉が成立しないといった影響も懸念されている(東京大学保全生態学研究室, 2008a)。これまで、えりも町では本種の報告がなされたことがなかったが、2007 年に初めて著者の自宅の庭で見つかり、続いて 2008、2009 年と確認され、分布の拡大も心配される。

た。

2009 年は、捕獲数が飛躍的に増加した。捕獲数及び訪花植物について表 1 に示した。2009 年 5 月 15 日から 10 月 16 日にかけて女王バチ(新女王バチを含む) 14 個体を含む 473 個体を捕獲した。捕獲場所は、これまでのえりも岬小学校周辺だけではなく、そこから 300~500m ほど襟裳岬よりの襟裳神社境内および旧「えりも岬生活館」跡地周辺や、南西に約 5 km 離れた東洋地区でも捕獲した(図 1, 図 2)。

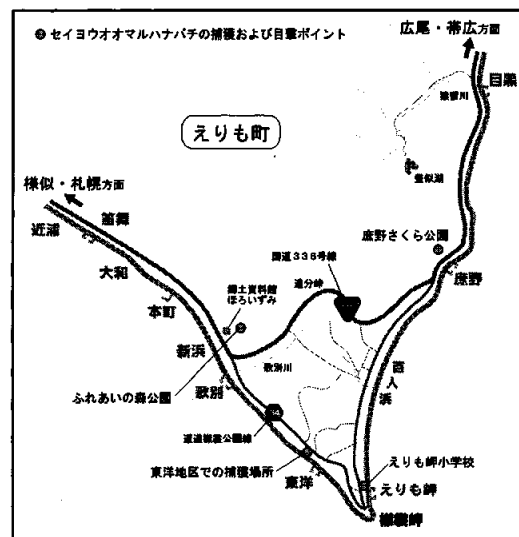


図 1. えりも町捕獲位置図

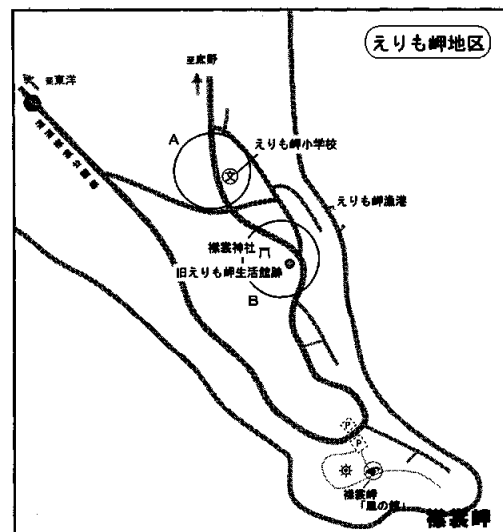


図 2. えりも岬地区捕獲位置図

捕獲状況、捕獲数

2007 年 8 月 6 日にえりも岬小学校すぐ近くにある自宅の庭に植栽していたボリジ *Borago officinalis* の花へ訪花している働きバチ 3 個体のうち 2 個体を初めて捕獲した。10 月には、自宅近くの空地にてムラサキツメクサ *Trifolium pratense* に訪花している女王バチ 1 個体も捕獲し、2007 年は、えりも岬小学校や自宅周辺で働きバチ 6 個体、女王バチ 1 個体の合計 7 個体を捕獲した。翌 2008 年は、同じくえりも岬小学校や自宅周辺で 6 月から 9 月の間に、働きバチ 22 個体、女王バチ 1 個体の合計 23 個体を捕獲し

1) 襟裳岬「風の館」 〒058-0343 北海道幌泉郡えりも町字東洋 366-3 E-mail: kaze@oorai.ocn.ne.jp

2) えりも岬小学校 4 年

表1.2009年セイヨウオオマルハナバチの捕獲数、捕獲場所、訪花植物

	捕獲総数	女王バチ数	捕獲場所	訪花植物
5月25日	3	3	A	セイヨウタンポポ
5月26日	2	2	A	セイヨウタンポポ
7月22日	3		A	シロツメクサ
7月28日	1		A	シロツメクサ
7月31日	3		A	シロツメクサ
8月5日	6	1	A	シロツメクサ
8月6日	2		A	シロツメクサ
8月7日	6		A	シロツメクサ
8月17日	13	2	A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月18日	13		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月19日	56	1	A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月21日	2		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月22日	36		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月22日	24		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月23日	24		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月24日	13		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月24日	4		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月25日	10		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月26日	14		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月26日	1		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月27日	10		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月27日	2		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月29日	5		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月30日	3		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
8月31日	1		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月2日	26		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月3日	1		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月8日	9		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月9日	9		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月10日	2		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月11日	14		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月11日	7		東洋地区	アシサイ
9月13日	4		A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月17日	26	1	A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月18日	5	1	A	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月19日	45	3	B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
9月26日	7		B	シロツメクサ、ムラサキツメクサ
10月2日	7		A	ムラサキツメクサ
10月2日	10		B	ムラサキツメクサ
10月3日	8		B	ムラサキツメクサ
10月5日	6		B	ムラサキツメクサ
10月6日	1		A	ムラサキツメクサ
10月7日	9		B	ムラサキツメクサ
10月10日	1		A	ムラサキツメクサ
10月11日	1		A	ムラサキツメクサ
10月16日	18		B	ムラサキツメクサ
合計	473	14		

捕獲場所A:えりも岬小学校・自宅周辺、B:襟裳神社・旧えりも岬生活館跡地周辺

えりも岬地区では、5月にはセイヨウタンポポ *Taraxacum officinale*、7月から10月はシロツメクサ *Trifolium repens* やムラサキツメクサに訪花していた。東洋地区では、民家の庭に植栽してあるアジサイ *Hydrangea macrophylla* に訪花していた。

また、庶野地区にある庶野さくら公園や新浜地区にあるふれあいの森公園（旧しゃくなげ公園）でも本種を数個体目撃した（図1）。庶野さくら公園内では、エゾヤマザクラ *Prunus sargentii* を中心とするサクラが約700本植栽されているほか、セイヨウを目撃した5月6日には、キタコブシ *Magnolia praecocissima* var. *borealis*、エゾエンゴサク *Corydalis ambigua*、ニリンソウ *Anemone flaccida*、カタクリ *Erythronium japonicum* Decne. が咲いていたが、訪花植物は確認できなかった。また、ふれあいの森公園内では、ヤマツツジ *Rhododendron kaempferi* var. *kaempferi* を中心とした約千本のツツジが6月に咲き、そのツツジに訪花していた。これらの目撃記録はそれぞれの個体数はわずかではあるが、えりも岬地区や小清水町（川原，2004）など他の町村での本種の分布域の拡大や個体数の急激な増加を考えると、数年のちには急激な個体数の増加が起こる可能性があるため、これらの地域周辺での本種の生息状況に注意を払う必要がある。

おわりに

えりも町内では、本種の農業利用は行われていないため、今回確認された個体は他地域からの侵入個体由来と考えられる。また、これまで営巣は確認できていないが2009年度には、複数の新女王バチも確認されていることから、えりも町内で本種が繁殖を行っていると考えられる。今後、これ以上の分布の拡大や個体数増加を防ぐためにも、本種の駆除対策が重要となってくると思われる。また、今回の調査では、在来マルハナバチとして、エゾオオマルハナバチ *Bombus hypocrita sapporoensis* Cockerell、

アカマルハナバチ *Bombus hypnorum koropokkrus* Sakagami et Ishikawa、ハイイロマルハナバチ *Bombus deuteronymus deuteronymus* Shulz を確認した。セイヨウによる在来マルハナバチへの影響を把握するため、今後は在来マルハナバチの種類や生息状況もあわせて記録し、その変化の状況を蓄積していく必要性を感じた。

なお本種の捕獲に関しては、「特定外来生物による生態系等に係る被害防止に関する法律」に基づく「セイヨウオオマルハナバチの防除従事者証」の交付を受け実施した。

参考文献

- 川原 進. 2004. 北海道小清水町で見つかったセイヨウオオマルハナバチについて. 美幌博物館研究報告, 12: 69-74
- 東京大学保全生態学研究室. 2008a. 「セイヨウオオマルハナバチ」監視活動ご参加の手引き. 4pp
- 東京大学保全生態学研究室. 2008b. 2007年度「セイヨウオオマルハナバチ」監視活動結果のご報告. 8pp
- 東京大学保全生態学研究室. 2009. 2008年度「セイヨウオオマルハナバチ」監視活動結果のご報告. 14pp
- 東京大学保全生態学研究室. 2010. 2009年度「セイヨウオオマルハナバチ」監視活動結果のご報告. 14pp
- 佐藤雅彦, 飛島ふみ. 2009. 利尻島におけるセイヨウオオマルハナバチの記録. 利尻研究, 28: 43-44
- 山鹿百合子, 喜田和孝. 2005. 北海道網走管内におけるセイヨウオオマルハナバチの記録 (2005). 美幌博物館報告, 13: 81-86
- 山鹿百合子. 2006. 北海道美幌町におけるセイヨウオオマルハナバチの記録 (2006). 美幌博物館報告, 14: 87-92
- 山鹿百合子. 2007. 北海道美幌町におけるセイヨウ

オオマルハナバチの記録(2007). 美幌博物館報告, 15 : 13-18

鷺谷いづみ, 鈴木和雄, 小野正人, 加藤真. 1997.
マルハナバチ・ハンドブック, 文一総合出版.
49pp

鷺谷いづみ. 1998. 保全生態学からみたセイヨウオオマルハナバチの侵入問題. 日本生態学会誌,
48 : 73-78